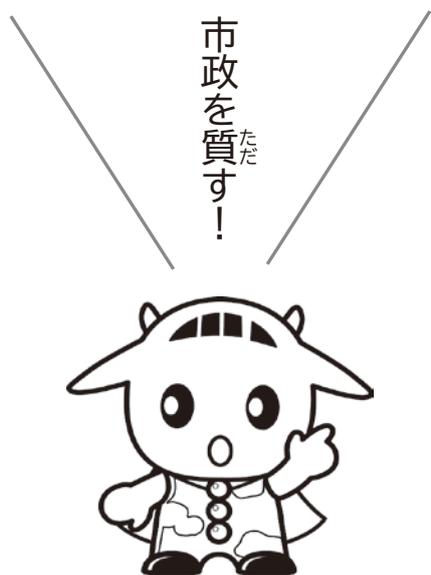


※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

# 一般質問します！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

## 【質問議員 12 名】 (質問順)

- P12 木村 喜一
- P13 島田 清一郎
- 福島 ヤヨビ
- P14 谷仲 和雄
- 長津 智之
- P15 石井 旭
- 村田 春樹
- P16 田村 昌男
- 戸田 見良
- P17 小川 賢治
- 植木 弘子
- P18 香取 憲一

## 農地付空家の流通促進で集落に活気と潤いを

### 農業委員会と環境課で即座対応の為、連携強化する



#### 木村 喜一

**Q** 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略目標「地方創生SDGs」実現に向けた持続可能なまちづくり推進について。

**A** 企画財政部長 普及活動を続けながら、立場、組織、領域を越えて協働する地域の担い手を増やしていきたい。

**Q** 温室効果ガス排出を削減する地域づくりを。

**A** 企画財政部長 昨年、国の2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度で26%削減するという国民運動に賛同し、昨年10月1日に国民運動「クールチョイス」を宣言都市として認定された。温室効果ガスの排出削減に向け、引き続き地球温暖化対策に取り組む。

**Q** 気候変動への適応を進める地域づくりとして、防災・減災などへの取り組みの推進について。

**A** 企画財政部長 地域防災力の向上を図るため、各小学校区や地域コミュニティ単位での市民参加型防災訓練の実施を推進し、地域住民ひとりひとりの防災意識の高揚を図る中で、「共助」の意識を醸成し、災害に強い街づくりを努めて参りたい。

**Q** 農地付空家の流通を促す為、農地5000㎡以上でないが現在新規取得が出来ないが、面積の大幅緩和を早急に実施し、空家流通を促すと同時に、耕作放棄地の一括解消を計るべきでは。

**A** 農業委員会事務局長 下限面積の引下げや特例措置としての面積の設定なども視野に入れ、農地付空家の課題解消に努めてまいりたい。

**Q** ドローンの導入で行政事務の効率化を望む。(災害時の情報収集・不法投棄監視・観光空撮・橋梁等高架建設物インフラ点検・基本測量や道路計画・放棄地の把握)

**A** 市長公室長 昨年2月に薬剤の散布などの実演を実施した他、残土の不法投棄の調査、確認などに利用している。今後も導入に向け協議を重ねていく。



## 安全・安心なまちづくりの備えについて

### 市民の安全確保を最優先で取り組む

島田 清一郎

**Q** 今後発生が予想される関東、東海地震について。

**A** 危機管理監 小美玉 市地域防災計画の第3編で、震災予防計画、震災応急対策計画が定められており、震災の備えを行っている。

**Q** 台風の直撃について。

**A** 危機管理監 台風の大型化やゲリラ豪雨により風水害による災害リスクが高まっている。避難所開設避難勧告等の発令について迅速な対応を行い市民の安全確保を最優先で取り組む。

**Q** 伝染病の蔓延防止について。

**A** 危機管理監 小美玉 市地域防災計画には、感染症・伝染病に対する取るべき防疫体制が定められており、災害時には、これにより予防対策を実施する。

**Q** 災害発生時の体の不自由な人や高齢者への救援体制について。

**A** 危機管理監 要支援者名簿により災害の危険性があるときは、避難の支援を行う。大きな災害が発生した場合には、行政が行う公助の機能が低下する可能性があり、救助、初期消火、要支援者への避難支援など、自助、共助からなる地域の防災力が有効となる。

**Q** 防犯カメラの設置状況と今後の設置計画について。

**A** 危機管理監 道路沿線や交差点に27台の防犯カメラが設置されている。今後の設置計画については、現在設置してある防犯カメラの効果をまず、検証し、補助金等の財源確保に取り組み、新たに設置すべき場所を、関係機関、警察などと協議していく。

## 誰もが住み続けられるまちづくりを

### 引き続き調査研究をしてまいりたい

福島 ヤヨヒ

**Q** 安心して子育てできるまちづくりとして、中学入学時の支援策や、給食費への補助の充実、医療費支援策として初診時窓口負担ゼロや、子どもの国保税の均等割り税に対する支援策の検討はされているか。

**A** 教育部長 就学支援については修学旅行、校外学習費などの保持を行い他の自治体より多くの支援を行っている。給食費についても他の自治体より安く公費負担も多く実施している。

**A** 保健衛生部長 子どももの国保税負担に対しても近隣の状況を把握して調査研究していきたい。

**Q** 高齢者も安心して住み続けられるための外出支援策として、デマンドタクシーの検討はされているか。高齢者は難聴になりやすいが、難聴者の補聴器補助制度はあるか。介護認定はどうして受けられるのか説明会などを行っているか。

**A** 福祉部長 公共交通会議を3月に行い、市内の循環バスについてや、今後の在り方をデマンドタクシーも含め検討していく。タクシー券の利用も多く高齢者の生の声を聞き検討を重ねていく。難聴については障害者認定を受けられるよう丁寧に説明していく。介護についての周知は相談窓口などで十分な対応をしていきたい。

**Q** 安全安心な小美玉市のために百里基地での訓練状況の把握はできているか。改めて市長に問うが、東海第二原発再稼働ストップ宣言を。

**A** 都市建設部長 百里基地訓練においては充分な意思疎通を図り、周辺住民の皆様の理解を得ながら要望活動を行っていく。

**A** 危機管理監 東海第二原発においては、廃炉を求める請願を採択しており、脱原発を目指す首長会議に加盟し、また15市町村と安全対策首長会議の中で連携していく。

通学路の指定を踏まえ、交通安全プログラムの運用は

プログラムに基づき通学路の安全確保を効果的に行う

谷仲 和雄



Q 令和2年4月1日より通学路の設定等の基準に基づく通学路の指定が実施となる。これを踏まえたプログラム運用は、



▲プログラムを通し県道の歩道整備につながった事例（2月19日撮影）

えるものと考え。教育委員会としては、引き続き、本プログラムを効果的かつ実践的に運用するためのプラットフォーム（土台）としての役割に努める。

Q 第4次行革推進にあたり行財政改革を総合計画の一つの基本施策として捉え、個別施策ごの実施項目類の達成度を成果指標に、行革のテーマを抽出する方法も選択肢の一つ。

この取り組みの下、ローリング方式での進行管理により、より統制的効いた実施計画類になるものと考えている。

A 教育部長 通学路の設定等に関する基準と通学路における児童等の安全確保に関する指針を踏まえ、令和2年4月1日から各学校で保護者の意見をもとに通学路を設定する。これにより、優先的に安全を確保すべき箇所について、より明確となり、交通安全プログラムに基づく通学路の安全確保を効果的に行

A 総務部長 第4次行革策定にあたっては、総合計画とより整合を取り、更に令和2年度には、公共施設等総合管理計画に基づく「公共施設建築物系個別施設計画」も同時に策定していくことから、本計画との整合を図ったものをイメージしている。

地域住民は生活道路の整備に期待が大きい

関係者の承諾を取り事業化へ協議調整する

長津 智之



Q 本市の道路整備状況は、質、量とも十分とは言えない。地域住民は、生活道路の整備に寄せる期待は大きい。

②市道玉313号線の改良工事について。改良区間は本田材木脇から、霞台厚生施設組合までの生活道路について。

①市道玉1号線の改修工事について。

③市道玉818号線の改良工事について。改良区間は、根玉里常会内の採石敷道路

改修区間は、べんてる(株)や丸玉産業(株)等が立地している区間である。工業団地内で交通量も多く、大型車両も通行するので路面の痛みも激しい箇所である。打替工事等も踏まえ舗装改修工事をお願いしたい。

A 都市建設部長 道路整備につきましては、区長が地権者及び関係者の承諾等を取りまとめ、道路整備要望書を提出していただき、事業化へ向けて協議調整を図る。

A 都市建設部長 工業団地付近は、大型車両や通勤車両の往来が多数あり、路面が損傷しやすい状況である。市実施計画を踏まえ、国庫補助要望をし、事業化に向けて準備をしている。



▲市道玉1号線



(仮称)石岡地域医療センターへの関わり方は

産科小児科に限定して支援していく

石井 旭

**Q (仮称)石岡地域医療センターの検討経緯と、小美玉市医療センターとの関係について市長に伺う。**

**Q 新型コロナウイルス感染症における市民への安心安全対策対応を伺う。**

**A 市長** 石岡市医師会エリアで出産できる医療機関がなくなったことを契機に、医師不足をはじめとする地域の医療課題が明らかに、石岡地域で安心して医療を受けることができるまちづくりを目指す主体的な取り組みを推進していくため「石岡地域医療計画」を策定した。今後は、石岡市において「病院整備基本構想」を策定する予定。「小美玉市医療センターとの関係について」は、(仮称)石岡地域医療センターとの関わりとして、小美玉市医療センターでは診察することのできない産科や小児科の入院での連携が考えられ、あくまでも競合しない範囲での医療の充実という観点で、連携を図

**A 保健衛生部長** 感染症に関する正確な情報を伝達するため、1月29日より市のホームページの「お知らせ」に、国の発信する関連情報のリンクを貼り付ける等、随時新情報を更新する。また、ネット環境がない方を含め全市民に対する啓発として、公共施設内に厚労省発行の手洗い及び咳エチケットのポスターを掲示、またアルコール消毒液の設置を行い、施設を利用される市民に対し普及啓発を行っている。  
**Q 市内循環バス等の検討状況を伺う。**  
**A 企画財政部長** 3月に行う市地域公共交通会議において、市循環バスの方向性を議論する。デマンドタクシーの導入について再検証する予定。

羽鳥駅周辺整備事業・駅前広場の進捗状況は

駅利用者の安全に配慮しながら完成を目指す

村田 春樹

**Q 羽鳥駅周辺整備事業、駅前広場整備の進捗状況並びに今後の方向性について。**

発活動をはじめ、定期的な巡回を行い、自転車の移動を行っている。通勤通学者の異動時期である3月中旬に駐輪場の一斉点検を実施し、4月期に撤去を行う予定。そのほか、駅周辺の整備が完了し、新たな駐輪場の完成後の利用状況を注視し、具体的な対応策を図っていく。

**A 都市建設部長** 今年1月に階段を供用開始するとともに、エレベーター及び公衆トイレを含めて2月16日に橋上駅舎及び東西自由通路の全面供用を開始。駅前広場整備の進捗状況は、橋上駅舎化及び東西自由通路の工事が完了したことにより、施工スペースがあつた工事の仮囲いが撤去されたところ。東口、西口ともに、今年度末には一部の土木工事及び歩行者通路上屋工事に着手する予定。  
**Q 仮設駐輪場の違法駐輪、放置自転車の状況と対応策は。**  
**A 都市建設部長** 仮設駐輪場周辺の放置自転車は、日中30台から40台程度の自転車が通路へ放置されている状況。対応策は、放置自転車禁止の啓

**Q 新たな駐輪場の自転車の収納できる台数は。**  
**A 都市建設部長** 新たな駐輪場に100台、現在ある仮設駐輪場に150台計250台程度を検討している。  
**Q 駐輪場の一斉点検の手法と撤去、処分条件は。**  
**A 都市建設部長** 一斉点検の手法は、利用期間調査票を1か月程度、自転車のハンドルにつけ、利用のない自転車については一時預かりとして保管し、その後クリーンセンターで処分している。  
**【その他の質問】**  
**Q コロナウイルスについて**

## 防災重点ため池の調査と管理は

### 適切な施設管理に取り組む

田村 昌男



**Q** 防災重点、ため池の調査と管理今後の対策について。

**A** 危機管理監 平成26年度にため池の一斉点検を実施。ため池として活用されているのが88箇所、水がない池が26箇所、現況が確認できない池が14箇所だった。ため池として活用されている池は、周辺の草刈や植栽されている樹木の管理は、ため池の水を活用している石岡台土地改良区や地元維持管理組合が行っている。管理の中で大規模な補修や危険箇所の解消が必要になった場合には、市が補修工事等を実施。今後も、管理組合と連絡を取りながら、危険箇所の解消など適切な施設管理に取り組んでいく。

**Q** 市道の排水路の整備、河川の整備や管理をしているか。

**A** 都市建設部長 道路整備を行なう中で、側溝などの排水構造物を設置することを条件としている。



▲小川北中学校周辺の梶無川

道路を舗装整備するだけでは、路面水等の流末がないため、低地に流れ込んでしまい、地権者や耕作者の方々に迷惑をかけるおそれがあるため、U字型側溝などの排水路を設置するようにしている。また、側溝の断面寸法は、雨量・集水面積・勾配・排水の目的等の要素を踏まえて設計しているが、最小断面は維持管理を考慮し、縦30センチ横30センチとしている。道路改良に伴う排水路の整備は、地域の地形や周辺への排水流入の影響など、地域の実情を把握した排水対策も求められていることを認識しながら、道路整備に努める。

## マスタープランにある小美玉市発展均衡化を

### 今後2か年で計画する中で視野に入れながら検討する

戸田 見良



**Q** 小美玉市指定管理施設について。

①市内教育施設建設時の指定管理運動施設の共用活用について。

②玉里学園義務教育学校建設時の運動施設共用活用の配慮を美野里地区竹原小でも対応できるか。

③災害緊急時の指定管理施設の避難所開設における対応について。

**A** 総務部長 ①学校活動において、指定管理者と連絡を密にスムーズに施設利用できるように努める。

**A** 教育部長 ②長期休み等も活用しながら不都合やリスクを最小限に抑えながら整備する。

**【要望】**  
○学校・保護者のみなさんとよく対話をしながら進めてもらいたい。

**A** 総務部長 ③指定管理者と災害時における避難所開設が迅速にできるよう協議、調整を進める。

**Q** 小美玉市まちづくり構想について。

①まちづくり構想の追加(つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用を追加すべきでは)

②マスタープランにある小美玉市発展均衡化が示されているが、小川市街地・玉里地域にも計画の追加を。

**A** 企画財政部長 ①コース再検証や新たなコース検証を含め検討していく。

**A** 都市建設部長 ②今後2か年で計画する中で視野に入れながら検討する。

**【要望】**

つくば霞ヶ浦りんりんロードの霞ヶ浦大橋から北側コースを初心者・ファミリー向けコースとして活用し、そのための駐車場・休憩所 高浜・高崎、下玉里地区、小川市街地・空港につながるコースも検討願いたい。

**【その他の質問】**

小美玉市周辺地域医療のこれらについて他

※SDGs（持続可能な開発目標）・・・2030年までに達成する17の国際目標



## SDGsの目標に本市の取り組む優先テーマは

国のアクションプランで示されている8つの優先分野において取り組みを推進したい

### 小川 賢治

**Q** 国のアクションプランにおける優先分野のうち①「あらゆる人々の活躍推進」②「健康・長寿の達成」③「平和と安全・安心社会の現実」④SDGs実施推進の体制と手段」の説明を伺う。

**A** 企画財政部長 ①児童虐待防止では子育ての不安解消や養育能力等の、相談体制の構築。貧困対策では、福祉・教育分野で民間と連携し、公平な学習機会の提供のため塾を開設している。

②「生活習慣病予防事業の充実」では健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、生活習慣病の発作予防及び、重症化・再発予防の徹底を図っている。③防犯ネットワーク及び防犯設備を強化し、地域における自主的な防犯活動の支援を図っている。④市広報紙にSDGsにおける啓発記事を掲載し、市民が分かりやすくSDGsを理解できるように推進していく。

**Q** 令和2年度新規事業について①産地パワーアップ事業の内容は。②都市計画マスタープラン策定事業の部分改定作業は。

**A** 産業経済部長 ①新ひたち野農協ハウスレンコン協議会が実施するレンコン栽培用の低コスト耐候性ハウス8棟、面積70aを整備するもの。

**A** 都市建設部長 ②「茨城空港周辺」や「県道茨城空港線沿いの土地利用構想」「市道美1627号線」についてより良く改定すべき点。



▲整備が進む市道美1627号線（江戸市内）

**Q** 交通安全対策、高齢者の急発進抑制装置に後付け装置の購入、設置費用の一部補助の考えを伺う。

**A** 危機管理監 国の状況や県の動向を見据えながら検討していきたい。

**Q** 小美玉市内高齢者の運転免許保有者数は。

**A** 危機管理監 平成30年65歳以上総数36192人内9413人26%で、4人に1人は65歳。

## お悔やみ窓口の開設を求める

### 提供できる仕組みの構築を図る

### 植木 弘子

**Q** 遺族の方々の負担軽減のため、お悔やみ窓口の開設を求める。

**A** 市民生活部長 死亡届提出の窓口である市民課、小川総合支所、玉里総合支所の3課が、市役所に届けなければならぬ他課の情報も効果的に把握し、ご遺族に提供できる仕組みの構築を考えている。実証運用を図り、より良いサービス提供ができるよう改善を重ねていく。

**Q** ゴミ出し支援事業について。

高齢社会が深刻化していく中、ゴミ出し支援をはじめとした公的な支援、住民間で構築される見守りネットワークなどにより、高齢者が安心して暮らせる町づくりが求められている。見解を伺う。

**A** 市民生活部長 特別交付税措置の活用を視野に入れながら、国・近隣自治体の動向を踏まえ、市内における高齢

者等の実態を把握しながら、関係各課と連携を図り、調査研究を深める。

**Q** 読書活動推進について、ブックスタート事業の拡充としてセカンドブック・サードブック事業の実施を求める。

**A** 教育部長 「子供の読書活動推進計画」の策定を検討し、財源の問題や時期を含めて検討する。

**Q** ICT機器の整備、充実について。

**A** 教育部長 GIGAスクール構想の実現に向けて、本補正予算では、国の補正予算による補助金を財源として活用するため、予算前倒しの措置をお願いしている。

【その他の質問】

新型コロナウイルス肺炎への対応について  
 ・市の相談窓口、対応  
 ・マスク、アルコール消毒剤の備蓄と活用  
 ・休校に伴う対応（給食、放課後子どもプラン）

小学校跡地利活用決定はスピード感を持って

公共施設個別計画のもと連携を強化し進める



香取 憲一

Q 小川・橘両小学校の跡地の進捗状況と今後の課題について。

A 総務部長 昨年5月から市で素案を策定。12月までに利活用方針を決定し、具体的計画着手は当初計画より少々遅れているが、急傾斜地や予算等様々な問題をクリアしながら取り組んでいく予定。閉校してから約1年間で両校合計維持管理コストが350万円かかっている現状であり、まずは、令和2年度予算において小川小学校のプール解体(1620万円予算)から着手を予定している。

【要望】

縦割を排除した組織横断のプロジェクトチームを編成し、権限を委譲してスピード感を持って進めて頂きたい。市民の皆さまの関心は非常に高い。

Q 民間となった新小美玉市医療センターへの今後の関わり方と課題について。



▲小川小学校跡地

A 保健衛生部長 医療センターは平成31年2月に民間移譲したが、地域医療存続のために市では、運営費として最大15億円を10年間で分割交付していく予定。ゆえに「小美玉市医療センター地域医療存続運営評価委員会」を設置し、新病院の運営のあり方や交付金の使途及び経営状況等の調査検討を行い、市民に必要な医療が確保され要望していく。また、多くの皆さまが、望まれている訪問診療系を含めた在宅医療サービスについて強く要望していきたいと考えている。

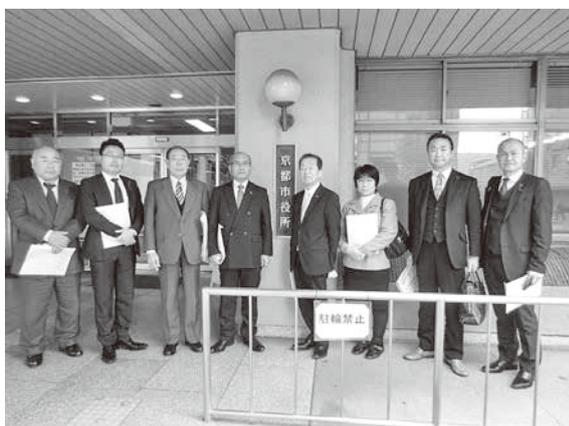
正副議長・委員長  
議会運営委員会  
合同視察研修

◆視察日：令和2年2月4日

～2月5日

◆議員

市村文男・笹目雄一・田村昌男  
石井 旭・植木弘子・木村喜一  
村田春樹・島田清一郎



▶京都府京都市会にて

◆研修先・内容

「議会映像配信について」

(京都府京都市会)

これまで、小美玉市議会においては議会改革を積極的に推進し、小美玉市議会基本条例の基本理念である「市民の負託に応えうる開かれた議論に基づく公平公正な議会を目指して」議会報告会の開催や、政治倫理条例の遵守などの取り組みを段階的に進めてきた。

今後、更に議会改革を加速させていくために、議員としての見聞を広め先進地の取り組みを視察・研修することによって、議会運営や行政課題に対して幅広い対応力を養うとともに、信頼される議会運営に反映するもの。

このたび、本市の議会改革項目でもある「議会映像配信」について、京都府京都市会が行なっている議会映像配信の取り組みについて視察を行ない、本市議会運営の更なる改革推進に資する。

京都市会では、インターネットによる配信と、YouTubeライブによる生中継を実施しており、多くの市民が手軽に議会情報を視聴することが出来る。

本市議会においても、早期実施に向け検討する。